

MOVE YOUR HEART!

進路通信第11号

明けましておめでとうございます。2024年がみなさんにとってよい年でありますように。

3年生のみなさんはもう今週末が大学入学共通テストです。冬休み前に「あと22日」だったのが「あと4日」になりました。（ちなみに来年度の共通テストは1月18, 19日です。）出来ることを最大限やりましょう。試験開始の瞬間までできることがあるはずです。試験が始まったら、自分の力が最も効果的に得点に反映されるように取り組みましょう。要するに時間配分です。今週末の激励会でお話ししますが、「絶対やってはいけないこと」が2つありますので気をつけましょう。共通テストは確かに大きな試験ですが、実は一般選抜型入試が始まる号砲にすぎません。前半が終わっただけです。後半も、アディショナルタイムもPK戦もあります。また私立大の一般入試（共テを利用しない入試方式）では全く無関係です。共テのあとが大事です。特に共テが早い今年度はここから勝負です。

共テリサーチの結果はすぐ出ます。いろいろな大学がヒットします。思わぬ名前が出てきます。是非「チャンス」と捉えてください。担任の先生や保護者の方とよく相談しましょう。せっかく手に入れた切符です。とにかく可能性を広くもっておきましょう。出願したあとで受験をやめることはできますが、逆はできません。入試には「運」もありますが、「縁」もあります。

進路が内定しているみなさん、冬休みは充実していましたか。内定者集会の雰囲気はとてもよいものでしたが、その雰囲気通りのすごしかたを続けましょう。後期特編からは午前授業になります。課題が出されている大学も多いですね。加えて今までできなかったことを、あれもこれもやってみましょう。「自主的に」という言葉が本当に意味をもってきます。上向きのベクトルで4月を迎えてください。

1, 2年生のみなさん、普通科の人は共テと同じ日に模試がありますね。思ったより長かった冬休みはいかがでしたか。その成果を試すべくわくわくして受験してくれるといいのですが。1年、2年はあっという間です。「冬休み明けは試験」です。ビ情科のみなさん、検定への備えは大丈夫ですか。進路目標は定まってきましたか。ビ情科ならではの有利さがありますので、それを生かしてほしいと思います。

「冬来たりなば春遠からじ」 寒い時期ですが健康と熱い気持ちで乗り切りましょう。

《当面の進路に関係する行事（一部既報）》

- 1 / 9 (火) 始業日 課題テスト
- 13 (土) 14 (日) 大学入学共通テスト
- 13 (土) 1, 2年生ベネッセ学力テスト
- 15 (月) 共テ自己採点 後期特編授業開始 1年ビ情科検定対策週間開始
- 19 (金) 第2回志望校検討会議
- 20 (土) 看護基礎力模試（自宅解答）
- 21 (日) 全商情報処理検定
- 26 (金) ビ情科課題研究発表会
- 28 (日) 全商簿記実務検定
- 2 / 1 (木) ~ 6 (火) 3年生学年末考査

2（金）3（土） 2年生全統共テ模試

《国公立大学・学校推薦型選抜（共通テストなし型）の結果》

富山県立大学（2名）、帯広畜産大学、静岡県立農林環境専門職大学、福知山公立大学に各1名合格（12月14日現在）。総合型選抜合格3名と合わせて国公立大学に現在8名合格。

《来年度からの大学入学共通テスト》

現2年生が受験する共テでは「情報Ⅰ」が60分追加され、国語が80分から90分に、数学Ⅱが60分から70分に延長される。当然「共テ模試」もそれに合わせて実施される。

問題は試験時間だ。現3年生は共テ模試を金曜日の放課後と土曜日1日で実施してきた。

現2年生が受験する今度の「全統共テ模試」の日程は厳しくなる。本番は丸2日間で実施されるが、模試はそうはいかない。土曜日+金曜日の放課後、で収まるかどうか。収まったとしても土曜日は遅くなるだろうし、なにより受験生にはこれまで以上の集中力・持続力も要求される。

業者主催の公開会場ではこれまで基本的に1日で実施してきた。どうなる（する）のだろう。

ただし「ピンチはチャンス」だ。全教科をしっかりと受験した生徒は共テ利用や共テ併用の入試でおそらく有利に戦えるだろう。安易に科目を減らさず、がんばっておくことでご褒美があるだろう。

《雑感》

冒頭に「よい年でありますように」と書いた。

よく考えると自分の力で「よい年にできる」部分と、自分の力では叶わなくて「よい年になる」ことを祈るしかない部分がある。誰かにとっての「よい年」が他の誰かにとっては「よくない年」である場合もある。難しいものだ。できれば誰かにとってよくないことだとわかっていることはしないでおきたいのだが。

論語に「己の欲せざるところ人に施すことなかれ」という一説がある（正確な書き下し文ではないので注意）。まわりくどい表現だ。「己の欲するところを人に施せ」ではダメなのか。だがそれだととんでもないことになる。だからせめて「自分が欲せざること」くらいは「他人にも施さないでくれよ」となるのだろう。そうなる禁と禁止というよりお願いに近い。

誰かが利益を得るならば他方で誰かに損失が出る。食べるためにはなにかが犠牲になる。生きるとはそういうことだし、きれい事ではすまない。だがせめてそれまで普通に暮らしていた人間同士が殺し合いをする、というだけは避けられないものだろうか。

《おまけ》

「旧ツイッター」で少し前にこんなものを見た。

春 地に消ゆる霜、今朝はよき露吹く。

夏 セミの声、田は遠く、かえる波。清き雨。

秋 よき実なる。絵かく音は絶え、この身切なく。

冬 月夜は酒も知る。雪に散る葉。

「のんびり屋」さんという方のつぶやきだ。なんと回文（反対から読んでも同じ文）になっている。すごい完成度。不自然さが全くない。個人的には「かえる波」が「帰る波」と「蛙の声の波」の掛詞と思いたい。作者ご本人に掲載の許諾をとっていませんが、出典を明らかにした上で、「学校からの出版物」として披露させていただきました。ご理解ください。